

単元名：「南小 玉手箱」を作ろう！  
～3-1 タイムマシンで見つけた南小～

男子19名 女子20名 計39名

指導者 坂本 由香

単元について

○ 児童の実態

本学級の児童は、1学期の総合の学習「町のひみつ発見」の学習で、校区から一步広げて自分たちの住んでいる町について調べ、伝え合う学習をした。2学期には、1学期に学習した公共施設や町で見かける点字ブロック、スロープなどから、誰もが利用しやすく暮らしやすい工夫に気づき、そこから課題を見付け、身近な福祉についての学習をしてきた。施設見学だけでなく、アイマスクや車椅子体験、視覚障害者の方との交流を通して、体の不自由な人だけでなく、誰に対しても相手のことを考え、弱い立場の人を大切にすることを学んできた。自分にできることを見付け、実践していこうとする意欲も育まれてきている。11月に行ったアンケート項目では、「課題について『多分こうだろう』『こうすればできるだろう』と予想している。」が肯定的評価94%、「課題解決にむけて、インターネットや書籍で調べている。」が84%と、課題の解決に向けて意欲的に取り組む児童が多い。しかし、自ら見学に行ったり家族や地域の方、専門家の方にインタビューをしたりするなど、多様な方法で情報収集をしている児童は56%と少ない。また、収集した情報をもとに「まとめ・表現」する活動において、画一的なものになり、課題を解決する手立てとなっていくような工夫された表現方法や効果的な発信には至っていない。

○ 単元観

本単元は、6年生にもっと南小のことを知って卒業してもらうために、学校の歴史や学校に関わる様々なことについて調べまとめた「南小 玉手箱」を作ろうとするものである。初めて卒業式に参加し卒業を祝う自分たちが、6年生にできることは何かを考えることで、目的意識や相手意識が明確になり、主体的に課題の設定や計画の立案に取り組むことができる。この学習では、南小がつけられた経緯や普段は意識せず身に付けている名札の校章や朝会で毎週歌っている校歌などについて、学校探検をしたり記念誌などの資料を利用したりして自分達で調べるだけでなく、ゲストティーチャーを招いたり、地域の方や卒業生にインタビューを行ったりして多様な方法で調べ、情報を収集していく。その後、調べた事柄をまとめての中から、「南小 玉手箱」に入れるものを選びまとめていくことで、収集した情報を整理し、物事を関連付けて考える力を付けることができる。また、各グループで作ったものを見合い、改善していくことで、多様な表現方法や効果的な発信方法を考えていくことができる。さらに、3学期の社会科「今にのこる昔の暮らし」の学習において、地域の人々の生活の移り変わりについて学ぶことや道徳の時間との関連を図ることで、改めて自分たちの学校のよさに気づき、学校の一員として自覚をもって、これからの学びを継続していくことができると考えられる。

○ 指導観

課題の設定では、社会科の事前学習での聞き取りやふるさと館での学習、学校に展示されている写真などから、昔の南小や学校の様子や興味をもたせ、もっと詳しく調べてみたいという意欲を高める。また、卒業式に出席する心構えを校長先生から聞くことで、自分たちができることを考え、卒業する

6年生に南小の「ひみつ」を詰め込んだ「玉手箱」を作ろうという課題を設定する。

課題をもとに情報を収集する段階では、書物やインターネットだけにたよるのではなく、卒業生、地域の方々や役場の方など、学校に関わる様々な人に話を聞き、人とのつながりを感じながら情報を収集できるようにしたい。歴史や変革だけでなく、各々の立場での学校に対する「思い」や「願い」があることに気付かせたい。

情報を整理・分析する過程では、自分が集めた「ひみつ」をボーン図を使って整理する。根拠を明らかにし、関連付けて整理しながら、最終的に「南小 玉手箱」に入れる内容を決めていく。また、できたものを違うグループで見合うことで、よりよいものを作るために、内容の精選や追加ができるようにする。

振り返りでは、6年生の感想などから活動を振り返り、必要な情報を収集し効果的に表現することができたかや自分の学びや成長に気付き、自分も南小の一員であることに誇りを感じ、学校への愛着を深めていきたい。

### 単元の目標及び内容について

- 6年生に南小のことを知ってもらうための情報を主体的に見つけようとする。 【主体性】
- 学校の歴史などを伝える活動をするために必要な情報を収集したり、情報を関連付けたりしながら「南小 玉手箱」に入れて紹介する内容を考え、工夫して表現することができる。 【思考力】
- 活動を通じて、学校への愛着を深めながら、学校の歴史などを6年生に伝えられる喜びを感じ、自分の成長に気付くことができる。また、それを今後の学習に生かそうとすることができる。 【自己理解】

### 単元の評価規準

学習方法に関すること		他者や社会との かかわりに関すること	自分自身に関すること
主体性	思考力	主体性	自己理解
①卒業する6年生に、「南小 玉手箱」を作るため、もっと南小について知ろうと興味・関心をもち、課題を設定している。 ②課題解決に向けて、活動計画を立てている。	①「玉手箱」作成のために必要な情報を、収集している。 ②収集した情報を整理・分類しながら、「ひみつ」(伝えたいこと)を考えている。	①グループの友達と協働して、課題を解決しようとしている。	①活動を通して、学校への愛着を深めながら、自分もそこに関わる一員としての喜びを感じ、自分の成長に気付いている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・「玉手箱」作成のために必要な情報を、進んで収集したり準備をしたりしている。	・「玉手箱」作成のために必要な情報を、収集したり準備をしたりしている。
【思考力】	・南小のあゆみや学校の移り変わりに関することを調べ、「玉手箱」作成に向けて収集した情報の中から、6年生に伝えたい理由を明確にし、情報を関連付けながら、「ひみつ」（伝えたいこと）を考えている。	・南小のあゆみや学校の移り変わりに関することを調べ、「玉手箱」作成に向けて収集した情報の中から、「ひみつ」（伝えたいこと）を考えている。
【自己理解】	・活動を通して、学校への愛着を深めながら、自分もそこに関わる一員としての喜びを感じ、学校をよりよくしたいという思いをもち、自分の成長に気付いている。	・活動を通して、学校への愛着を深めながら、自分もそこに関わる一員としての喜びを感じ、自分の成長に気付いている。

指導と評価の計画

全 12 時間

次	時	学習内容	評価				
			主	考	自	評価規準	評価方法
		<b>社会科</b> （1～3月） 「今にのこる昔とうつりかわり」 ○古い建物や道具，地域に受け継がれている行事を手がかりに，昔の人々のくらし地域の人々の思いを理解する。					
一	1	<b>課題の設定（2）</b> ○昔の南小の様子や学校の移り変わりについて関心を高める。 ・社会科の学習で聞き取りをしたことや昔の学校の写真などから，自分たちの学校のあゆみについて興味をもつ。 ・初めて卒業式にのぞむ3年生として，南小について調べたことを卒業する6年生に伝えようという単元全体の大きな課題をつかむ。 <b>【本時】</b>				・卒業する6年生に南小学校について知ってもらうために，「南小 玉手箱」を作ろうという課題を設定している。	発言 行動観察 ワークシート
	2	○単元計画を立て，ゴールの見通しをもつ。 ・どんなことについて知らせていきたいかを考え，伝えたい「ひみつ」を決める。 ○ゴールの見通しをもち，学習計画を立て，単元で付けたい力について考える。				・ゴールの見通しをもち，課題解決に向けて学習計画を立てている。	発言 行動観察 ワークシート
二	3 ～ 6	<b>情報の収集（4）</b> ○学校の「ひみつ」について調べる。 ・役場の方や卒業生，地域の方々から聞き取りをしたり，資料を読んだりして，「ひみつ」の情報を集める。 ・集めた情報を「ひみつカード」に記入する。				・「南小 玉手箱」に入れる「ひみつ」について，必要な情報を収集している。	発言 行動観察 ワークシート

		<b>道徳の時間</b> ○「学校のさくら」【価値項目4-(2)】の学習を行い、地域の方々の学校に対する思いや学校のよさを知り、それを守ろうとする心情を養う。				
三	7 ～ 10	<b>整理分析(4)</b> ○収集した情報を整理し、「南小 玉手箱」に入れるものを考える。 ・収集した情報をもとに、「ひみつ」になる理由をボーン図を使い明らかにする。 ・知らせたい内容をまとめる。 ・「南小 玉手箱」に入れるそれぞれの「ひみつ」を完成させる。		○	・収集した情報を関連付けながら、理由を明らかにして、「南小 玉手箱」に入れる「ひみつ」を考えている。	発言 行動観察 ワークシート
	11	<b>まとめ・創造・表現(1)</b> ○各グループの内容を共有し、改善を図る。 ・他のグループの「ひみつ」を見合い、交流したことをもとに、よりよくするために内容の追加や整理を行う。		○	・よりよいものになるように、表現の工夫をしている。	発言 行動観察
		(時間外) ○「南小 玉手箱」を6年生に届ける。 ・6年生に、玉手箱に入っている自分たちが調べた「ひみつ」を紹介する。				
四	12	<b>振り返り(1)</b> <b>学びのモニタリング</b> ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で、ワークシートや取組をもとに、自らの成長を振り返る。		○	・6年生に学校の「ひみつ」を伝えられた喜びを感じ自分たちの学校への愛着を深めている。	発言 ワークシート

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

- 南小の歴史などに興味をもち、卒業する6年生に、南小についてもっと知ってもらうために、「南小 玉手箱」を作ろうという単元の学習課題(伝えたい内容・調べる方法)を設定することができる。

### (2) 本時の評価規準

- 昔の南小や学校の移り変わりについて、興味をもつとともに、卒業する6年生に、南小についてもっと知ってもらうために、「南小 玉手箱」を作ろうという単元の学習課題を設定している。

【主体性】

(3) 本時の学習展開 (1時間目/12時間)

<p>学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力</p>
<p>1 社会科の学習と関連付けたこれまでの学習を想起する。 ・今使っている道具や服などは、昔と違っている。 ・時がたつにつれて、使われなくなった道具やなくなったこと(習慣)がある。</p> <p>2 南小建設当時の様子などを知る。 ・家はあるけど、山がほとんどをしめている。 ・山を削って運動場が作られている。</p> <p>3 卒業生のお話を聞く。 ・学校の中には、ここで学習した人たちの「あしあと」が残っている。 ・今年の6年生は何回目の卒業生なんだろう。その卒業式に自分たちは出席するんだ。</p> <p>4 学習のねらいを設定する。</p>	<p>◇今のくらしの様子は、昔と同じものでなく、移り変わってきていることを確認する。</p> <p>◇学校建設当時やそれ以前の写真を見たり地域の方のお話を聞いたりすることで、39年前までは学校がなかったことやこれまでに学校も変わってきていることに興味をもたせる。</p> <p>◇卒業制作に目を向けさせることで、南小をたくさんの方が卒業したことや6年生も、自分達も同じであることを意識させる。</p> <p>◇事前の6年生にアンケートから、学校のことについて知っていることが少ないことを知らせる。</p>	
<p>ねらい 「玉手箱」に入れて6年生に伝えたいことや、調べる方法を考えよう。</p>		
<p><b>本時のゴールの見通し(評価規準)</b></p> <p>A: より良い「玉手箱」ができるように、6年生に伝えたいことを考え、どのように調べるができるか意欲的に考えている。</p> <p>B: 6年生に伝えたいことを考え、どのようにして調べるができるか考えている。</p>		
<p>5 「玉手箱」に入れる内容や調べる方法について考える。 ○どんなことを6年生に伝えたいですか。</p>	<p>◆6年生のアンケートの結果を参考にしながら考えさせる。 ◇ワークシートに記入した後、グループで交流させる。</p>	

<p>□思考の場の工夫 <b>関連付け</b>        KWLシートを用いて、南小のひみつ（調べて伝えたいこと）を見付けさせる。</p>	<p>◇理由を明確にして、自分の考えを伝えるようにさせる。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌は、誰が作ったのか。</li> <li>・校章には、どんな意味があるのか。</li> <li>・昔は、どんな教科の学習があったのか。</li> <li>・学校ができたときから、今の制服だったのか</li> <li>・町立図書館の本で調べる。</li> <li>・卒業生にインタビューしてみる。</li> <li>・学校に関わった人に手紙を出して聞いてみる。</li> </ul> <p>6 全体交流をする。</p> <p>7 本時の学習をまとめ、振り返りをする。</p>	<p>◇グループででた意見を小黒板に書いて掲示し、出た意見を共有する。</p>	
<p>★めざす児童の姿（例）        私は、学校ができたころの子どもたちがどんな科目を学習していたのかを知りたいです。理由は、〇〇先生のころは英語の学習はしていなかったといわれていたからです。もっとたくさん卒業生の人にインタビューして調べたいです。</p>		
	<p>◇次時は、学習の計画を考えることを確認する。</p>	<p>◎ 南小について様々なことを調べ、まとめたものを6年生に伝えるという課題を設定している。〔主体性〕        (ワークシート・行動観察)</p>

(4) 板書計画

「南小 玉手箱」に入れて伝えたいことや調べる方法を考えよう。

建設当時の学校の  
写真

→

現在の学校の  
写真

**伝えたいこと**

- ・南小は、海田町で4番目に作られた学校。
- ・山を削って作られた。
- ・学校がなかったときは、この地域の子どもたちは、東小学校に通っていた。
- ・学校の中には、卒業生のあしあとが残っている。

**調べの方法**

- ・ここに学校が建てられた理由
- ・校歌について
- ・校章の意味
- ・桜坂の桜について
- ・学習していた科目について
- ・学校の自慢

**調べの方法**

- ・卒業や地域の人にインタビューをする。
- ・手紙を出して、聞く。
- ・図書館や図書室の本
- ・インターネット

〈参考〉「学びのモニタリング」

自分から取り組む力

「南小 玉手箱」に入れるものを選んで調べたり聞いたりして集め、じゅんぴをするこ  
とができたか。

①とてもよくできた      ②よくできた      ③あまりできなかった      ④できなかった

〈理由〉

深く考える力

自分や友達が調べたことなどを整理し、理由を明らかにして「だから」をまとめるこ  
とができたか。

〈理由〉

自分をふりかえろう

活動を通して、人とかかわることのよさや自分のよさに気づくことができたか。

〈理由〉

学びのモニタリング

  

「南小 玉手箱」を作ろう！

〜三〜

タイムマシンで見つけた南小

三年 組

小総3年 - 7